



# DIA Japan "Cutting Edgeシリーズ"

～医薬開発におけるAI・デジタル技術の利活用の現状と未来～

2019年6月3日(月) 10:00～18:00

KFCホール(両国)

## プログラム委員長

株式会社インタープロフェッショナル  
冠 和宏

## プログラム副委員長

グラクソ・スミスクライン株式会社  
井上 宏高

## プログラム委員

GEヘルスケア・ジャパン株式会社  
梶原 大介

株式会社Real Discovery Outdoors  
小澤 郷司

東京大学医科学研究所  
湯地 晃一郎

## DIA Japan Operation Team

北里大学大学院

金子 真之

ヤンセンファーマ株式会社

山田 彩

昭和大学臨床薬理研究所

山崎 太義

「人間が想像できることは、人間が必ず実現できる」。かのフランスのSF作家ジュール・ベルヌの言葉です。皆さんはこの先の技術革新すなわちイノベーションにどんな期待を抱いていますか。イノベーションは、医療や工学の世界のみならず、経済や社会学のエリアにおいても重要なテーマとなっています。一口にイノベーションと言っても、その適応範囲や概念は多様性に富み、より科学的なものから、意思決定や社会システムと広範にわたります。

イノベーションに対する期待は、生産性アウトプットの向上やリソースの削減などにあり、これまでになかった技術の開発にとどまらず、ロボティクスや人工知能のような生産性を更に向上させるテクノロジーやアイデア、IT技術やデジタルテクノロジーの進歩に代表されるような産業間の壁を越えた新しいアイデアの融合を促進する触媒としての役割が注目されています。

ヘルスケア産業においても、様々なイノベーションが未曾有の変化のドライバーとなっています。医療データベースは、これまでのRCTの限界を補完するツールとして、ヘルスケアの価値や効率化のような新しい側面を見える化することに寄与することが期待されています。また、画像技術や画像データの処理速度の向上や、診断精度の向上、膨大な科学論文や文献情報に基づく、治療アルゴリズム構築や治療計画の策定支援など、ヘルスケア産業における更なる進展への期待は大きくなっています。

DIA Japanでは、近年の注目トピックをテーマに、“Cutting Edgeシリーズ”と題してイノベーションを支える最新技術にフォーカスをあてたシンポジウムを企画いたしました。第一回目は、「医薬開発におけるAI・デジタル技術の利活用の現状と未来」をお送りいたします。産業の成長促進や更なる技術革新を考えたとき、エリアに関わらず、継続的なイノベーションの推進の原動力となり課題となるのは、①イノベーションのコアとなる技術革新を推し進めていくこと、②その技術を応用して製品化すること、③更なるプロセスの効率化を考えると、④イノベーションの担い手や応用を推進する担い手を育成することになります。

このエリアの第一線で活躍するエキスパートを招いて、臨床試験や市販後安全対策への適応事例、技術革新の世界潮流について、また生産性向上の視点や法整備、更には人材育成のトピックも含め、幅広いテーマについて産学官の皆様とディスカッションする場を提供します。皆様のご参加を心からお待ちしております。

本シンポジウムは日本語で開催いたします。

後援：東京大学医科学研究所附属病院

## 卓上展示申込受付中

詳細については、下記までお問い合わせください。

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング6階

Tel: 03-6214-0574 | Fax: 03-3278-1313 | email: Japan@DIAglobal.org

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

[DIAglobal.org](http://DIAglobal.org)

DIA

Nihonbashi Life Science Building 6F, 2-3-11 Nihonbashi-cho, Chuo-ku  
Tokyo 103-0023 Japan  
+81.3.6214.0574  
Japan@DIAglobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East & Africa | China | Japan | India

9:30-10:00 受付

10:00-10:15 開会の挨拶

一般社団法人 ディー・アイ・イー・ジャパン

植村 昭夫

プログラム委員長 / 株式会社インタープロフェSSIONAL

冠 和宏

10:15-10:35 基調講演

座長

株式会社インタープロフェSSIONAL

冠 和宏

**AIを活用した医療機器のレギュレーション**

厚生労働省

中井 清人

10:35-12:15 セッション1

**加速する医薬品・医療機器開発を支える技術革新**

座長

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

梶原 大介

東京大学医科学研究所

湯地 晃一郎

いかに早く、いかに安く、いかに安全に良い医薬品・医療機器を患者様に届けること。これは医療業界全体が目指す大きな命題です。これを実現する為に、製薬会社、病院等医療機関、またそれらを支える様々な分野において様々な技術イノベーションが起こっている。現在その中心となっているのが、AI・デジタル技術である。本セッションでは、医薬品・医療機器開発に直接的、間接的に関わる様々な技術分野において起こっている、AI・デジタル技術をベースとした新技術に関して議論することで、将来の医薬品・医療機器開発の姿を想像してみたい。

**AI医療機器の開発と臨床応用への展望**

東京慈恵会医科大学

中田 典生

**眼科領域におけるAI活用とトプコンのHealthcare through the Eye**

株式会社トプコン

秋葉 正博

**GEにおけるAI技術のMRI画像診断への適用**

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

植竹 望

**ICT-AIの医療応用へ向けたオリンパスの技術戦略**

オリンパス株式会社

藤沼 賢

**信号処理とAIによるてんかん診断支援システムの構築**

東京農工大学

田中 聡久

12:15-13:45 ランチブレイク/展示ブース紹介

13:45-15:45 セッション2

**最新技術を用いた生産性の向上**

座長

グラクソスミスクライン株式会社

井上 宏高

昭和大学臨床薬理研究所

山崎 太義

生産性の向上は常に経営課題であり続ける一方、その方法論は技術革新の流れを受けて大きく変化してきている。特にホワイトカラーの業務生産性向上はこれまでのシックスシグマ、リーンなどの品質・プロセス改善アプローチに加えて、人工知能、機械学習、Robotic Process Automation (RPA)、セマンティック技術応用など、最新の技術が業務プロセス変革の核になる事例が増加している。本セッションでは、AI翻訳、科学論文検索におけるセマンティック技術の応用、安全性分野におけるRPAの適応など様々な領域での効率化、生産性の向上について各分野の専門家に適用事例や今後の展開について解説していただく。

**デジタル医療の開発と臨床開発の効率化  
～AI、ブロックチェーン、eProの活用～**

サスメド株式会社

上野 太郎

**Intelligent Pharma R&D - AI Driven Drug Discovery & Development**

Deep Intelligent Pharma Japan K.K.

山本 晋也

**オントロジーに基づいたセマンティック処理によるAI解析**

SciBite Limited

John Bolger

**プロ翻訳者レベルのAI自動翻訳“T-400”で、働き方改革**

株式会社ロゼッタ

鷲頭 均

**Robotic Process Automation (RPA) で変わる臨床開発業務プロセス**

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

千葉 海理

**Business Process Changing with Robotic Process Automation (RPA) (PV)**

アステラス製薬株式会社

橋本 佳己

15:45-16:15 コーヒーブレイク/展示ブース紹介

## 16:15-17:45 セッション3

## イノベーション時代を生き抜く人材とその育成

座長

株式会社インタープロフェッショナル  
冠 和宏株式会社Real Discovery Outdoors  
小澤 郷司

医療データベースの利活用、画像・画像技術や画像データの処理速度向上、診断精度の向上、膨大な科学論文や文献情報に基づく治療アルゴリズム構築や治療計画の策定支援など、医薬業界でもAI等を代表とするイノベティブなテクノロジーが日々進化発展している時代に、それを生み出すための人材、使いこなす人材、発展させるための人材が必要となってきた。金融業など他業界においては、データサイエンティストがビッグデータを活用して企業の経営課題解決のために大きな役割を果たしている一方で、医薬業界においてはデータサイエンティストが限定された役割しか果たしていないのが実情である。本セッションでは、医薬業界においてイノベティブな時代を生き抜くための人材とその育成について、課題も含めて各分野の専門家の方にご講演いただく。

## データサイエンティストが持つべき資質とは

神戸大学  
鶴田 宏樹

## アンケート結果に見る製薬企業(国内)における人工知能(AI)の利用の課題-人材を中心に

千寿製薬株式会社  
日本製薬工業協会 データサイエンス部会  
鳥本 円

## パネルディスカッション

## 本セッションの講演者および

大日本住友製薬株式会社  
日本製薬工業協会 データサイエンス部会  
兼山 達也サスメド株式会社  
上野 太郎独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
宇山 佳明

## 17:45-17:55 閉会の挨拶

プログラム副委員長 / グラクソスミスクライン株式会社  
井上 宏高

## 18:00-19:30 情報交換会

特に公表しない限り、本シンポジウムにて発表される内容は発表者本人の見解であり、所属する組織、あるいはDIAのものとは限りません。

発表者および講演タイトルは予告なく変更されることがあります。

書面における合意なく、DIAイベントの情報を録音することは、いかなる形態であっても禁止されています。

## SAVE THE DATE

16<sup>th</sup> DIA Japan  
Annual Meeting 2019November 10-12, 2019  
Tokyo Big Sight | Ariake

## Private Social Function Policy

本シンポジウム開催期間中、当プログラム外の会議、展示、懇親会等のイベントの開催はご遠慮ください。下記時間帯につきましては、これに限りません。

6月3日(月)

9:00以前、20:00以降



# 会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン

Fax:03-3278-1313

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11  
日本橋ライフサイエンスビルディング6F Tel: 03-6214-0574

DIA Japan "Cutting Edgeシリーズ" ~ 医薬開発におけるAI・デジタル技術の利活用の現状と未来 ~ [カンファレンスID #19317]

2019年6月3日(月) | 両国 KFC ホール

〒130-0015 東京都墨田区横網1丁目

## ◆ 参加申込方法

DIAウェブサイト(www.DIAglobal.org)よりお申し込み頂くか、この申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメール添付Japan@DIAglobal.orgにてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。

## ◆ 参加費用 (該当する□にチェックしてください)

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいてから翌年同月末まで1年間有効です。DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典も得られます。不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

①年会費: 現在会員でない方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

\*参加費の早期割引価格は現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみに適用されます。会員資格が失効している方および非会員の方は、ぜひこの機会にぜひ登録ください。

\*\*アカデミア会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでFAXもしくはメールにてお送りください。

Membership (有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 17,500 (税抜)	¥ 18,900 (税込)
2-Year Membership (有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 31,500 (税抜)	¥ 34,020 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 12,000 (税抜)	¥ 12,960 (税込)

②参加費: 所属カテゴリーと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

会員	一般	早期割引:2019年5月20日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 29,000 (税抜)	¥ 31,320 (税込)
		2019年5月21日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 32,000 (税抜)	¥ 34,560 (税込)
非会員	政府関係 非営利団体 大学関係	早期割引:2019年5月20日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 13,500 (税抜)	¥ 14,580 (税込)
		2019年5月21日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 15,000 (税抜)	¥ 16,200 (税込)
非会員	一般	<input type="checkbox"/>	¥ 40,750 (税抜)	¥ 44,010 (税込)	
	政府関係/非営利団体	<input type="checkbox"/>	¥ 23,750 (税抜)	¥ 25,650 (税込)	
	大学関係	<input type="checkbox"/>	¥ 21,000 (税抜)	¥ 22,680 (税込)	

③合計金額 (①+②): 合計 \_\_\_\_\_ 円

\*最終確定金額は、DIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください。

DIA Japan 使用欄	
Date	
No.	
受領書 送付	
Invoice	
入金	

## ◆ お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

[支払方法]  銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振り込み手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(どちらか1つにチェック)  VISA  MasterCard  JCB

カード有効期限(mm/yy) \_\_\_\_\_

カード番号 \_\_\_\_\_

カードご名義 \_\_\_\_\_

ご署名 \_\_\_\_\_

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名もしくは請求書番号を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担でお願いいたします。

## アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name (姓)  Dr.  Mr.  Ms. First name (名) \_\_\_\_\_ Company \_\_\_\_\_

Job Title \_\_\_\_\_ Department \_\_\_\_\_

Address \_\_\_\_\_ City \_\_\_\_\_ State \_\_\_\_\_ Zip/Postal \_\_\_\_\_ Country \_\_\_\_\_

email (必須) \_\_\_\_\_ Phone Number (必須) \_\_\_\_\_ Fax Number \_\_\_\_\_

\* 参加のキャンセルは、お申し込み受理後、**2019年5月27日**までは手数料として一般会員・非会員とも10,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも5,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際は**お早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。**(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。会場は変更される場合がありますので予めご了承ください。

\* DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。ネームバッジの貸し借りはご遠慮ください。必要に応じて、会場にてスタッフが本人確認をさせていただきます。

\* 本会議では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含む会場内の映像・写真を撮影することがあります。本会議の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを承諾するものとします。

【DIAが取り扱う個人情報について】 お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したプログラム関係者(講演者、プログラム委員)に限り配布いたします。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取り扱いご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。